

“ISIJ International” 投稿規程(和文要約版)

以下は日本鉄鋼協会欧文会誌“ISIJ International” Instructions for Authors の日本語による要約で、編集方針・掲載記事内容・投稿から掲載までの手続きなど投稿者の注意すべき事項が記されている。

- (1) “ISIJ International” 本誌は材料とプロセスの科学・技術を対象とする国際的かつ学際的な学術誌であり、会員・非会員および国籍を問わず原著報文を投稿できる。取り扱う範囲は鉄鋼を中心にすえながら、その周辺の多岐に亘る分野を包含する。
- (2) 記事分類 原稿は、投稿者のApplication Formによる申告と編集委員会の審査結果にもとづき、以下の四つのカテゴリーに分けて掲載される。
 - a) Full length regular article: 未発表の原著報文(制限長さ:刷上がり10ページ以内)。
 - b) Review: 編集委員会からの執筆依頼記事。執筆希望者の委員会への提案を歓迎する。
 - c) Communication: 速報性を目的とした記事(3ページ以内)。
 - d) Note: ①協会(和・欧文)会誌掲載記事への意見・反証・例証、②新技術・研究手法の紹介、③会員に興味のある提案・意見。(3ページ以内: synopsis および key word は不要)。
- (3) 使用言語 国際語としての標準的英語を用い、一論文中では米式または英式綴りのいずれかに統一する。英文表現に関する責任は著者にある。使用単位はSIとし、SI併用単位(min, h, L, tなど)も許容される。社内用語や商品名および宣伝的表現の使用は避け、非慣用語・記号を使用する場合には初出時に説明が必要である。
- (4) 投稿 正・副原稿を、Application Form 添付の上、日本鉄鋼協会編集課欧文会誌係宛提出する。原稿の構成は題目ページ、シノプシス・キーワード、本文、引用文献リスト、図・表およびその説明文リストとする。正原稿には印刷可能な図(写真)が必要である。本規程に示す必要なものが整えられた原稿の本会に到着した日を受付日、編集委員会の審査により掲載可の判定を得た日を受理日とし、それぞれの年月日を会誌に記載する。
- (5) 審査 編集委員会が投稿原稿の掲載可否を最終決定する。原稿の受理・掲載は報文内容の全面的承認を意味するものではなく、記事に関する責任は著者にある。審査の結果、掲載の可否、修正[mandatory または optional]の可否を著者に通知する。

既公表記事内容の取扱い方針 印刷物にて刊行済みまたは投稿中の原稿の提出は二重投稿とし、本誌への掲載を認めない。ただし次の場合を例外とする。①“鉄と鋼”掲載(投稿中)記事の英文版は受け付ける。②本誌Communicationに既載の内容をregular articleに展開した原稿で、編集委員会が十分に新規な内容を含むと判断したものは受理する。③極めて限られた頒布刊行物に掲載された記事で、編集委員会が転載の価値があると判断したものは受理する。これらの例外規定により投稿する場合は、Application Formにおいて既公表事実の申告および既刊関連報文のコピー提出が必要である。
- (6) 原稿の修正 修正期間は発送後一か月とし、三か月超過の場合は新着原稿として処理する。修正(mandatory)原稿再提出の際には、旧原稿に添えて審査員の修正要求に対する著者の対応の説明あるいは意見の提示が必要である。修正箇所は明確に示し、印刷のミスを防止するため手書きによる書き込みは認めない。修正箇所が多数の場合は全面的にタイプし直す。
- (7) 校正 掲載予定号発行の一か月半前に著者によるゲラ刷校正を求める。指定期間内に返送されない場合、予定号への掲載が不可能となることがある。ゲラ刷校正においては、印刷上の誤り以外の書き改めは原則として認めない。
- (8) 著作権 掲載物の著作権は協会に帰属する。投稿をもって著作権の協会への譲渡の意志表示と見なす。協会は著者からの正当な著作権物件使用の要求を拒否しない。投稿原稿における既著作権物件使用に関する責任は著者が負う。
- (9) 別刷 本誌への掲載料は求めない。別刷りの注文は校正用ゲラ刷とともに送付する注文書にて受け付ける。標準的料金として、刷上がり8ページの報文の別刷り50部が13,100円で購入できる。